

和久井屋
電話〇五番

中元特賣

- 豆茶 舞台 八十五錢
- 丸菓子器 五十五錢
- 特製汁碗五個入 六十七錢
- 長手盆 六十錢
- 富貴塗丸盆 四十八錢

その他種々御贈答品
や御引物として向
く品でございます

中元

贈答御案内

体裁優美な

- 箱入タオル 卅六錢位
- 箱入半布 七十錢位
- 箱入靴下 一圓廿錢位
- ボイルシャツ 一圓五十錢
- 絹シャツ 二圓三十錢
- 特製赤箱石鹼 二十五錢
- 三ヶ人 二十五錢
- 半打入 五十錢

便利な商品券を
御利用下さい

ツルヤ

四丁目 電話百四十番

體温計 関内藥局

寒暖計 電話〇五番

全日本 電話〇五番

三男藤夫の新盆に相當候へ共時節柄に鑑み提灯其の他の御供物御辭退申上度此段御諒解願上候

平町四丁目九番地
松本愛三

荆妻キクノ儀新盆に相當仕候へ共時節柄提灯其他の供物一切固く御辭退申上候

平町白銀町
つたや旅館
柏木勝利

亡母徳本院新盆の處時節柄提灯其他一切の供物御辭退申候御諒承の程願上候

市原卯太郎

父乙三郎儀新盆に相當り候へ共時節柄提灯其他一切の供物御辭退仕度候條何卒不惡御諒承被成下度以紙上申上候也

平町搔越小路
阿部政右衛門

荆妻ナル子儀新盆に相當り候へ共時節柄提灯其他一切の供物御辭退仕度候條何卒不惡御諒承被成下度以紙上申上候也

平町田町
高野卯之吉

謹啓
永興院淨圓蝶華清大姉新盆に相當り候處時節柄提灯其の他の供物一切御辭退仕り度候間此段御諒承之程願上候

昭和四年八月九日
永山和平

長男正一の新盆に相當候へ共時節柄提灯其他供物の御惠與一切御辭退仕度此段貴意候也

平町鍛冶町十七番地
松本忠次郎

善勝院壽翁明延善清居士本年新盆に相當仕候へ共時節柄に鑑み生前の遺志に基き提灯其他供物御遠慮申上度此段謹告候也

平町三丁目
鈴木義忠

亡息正儀新盆に相當候へ共時節柄提灯其他の供物御辭退申上度此段御諒承願上候

平町南町
酒井國三郎

岐阜提灯
新盆 御戒名入提灯
お安く勉強致します

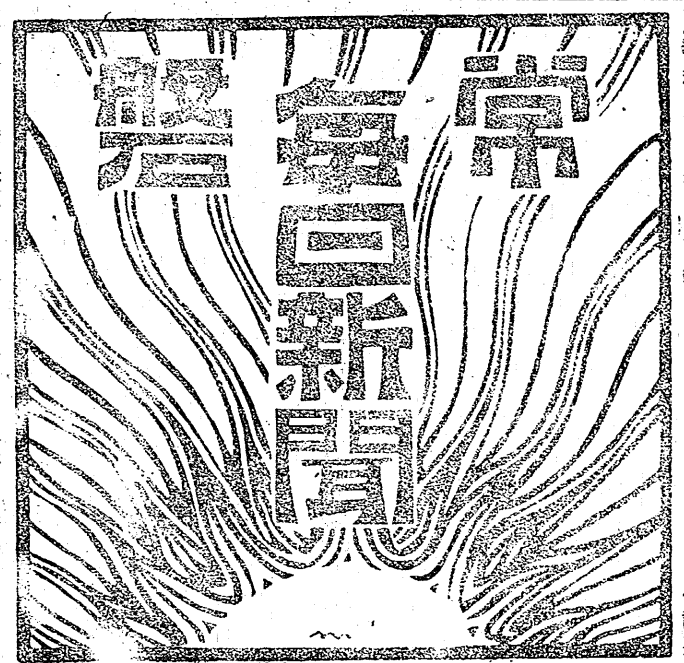
三丁目 **叶星提灯店**

に至ては、精神の緊張どころではない、官紀の頹廢人心の弛緩實に驚くべきことではないか。且つ又緊縮といふことが産業の振興も人口の激増も失業の頻発も何もかも閑却して收縮するといふなら決して國民の爲め緊縮政策ではない。再び言ふ、社會政策を忘れた緊縮政策は、御役人の緊縮政策であり、銀行の緊縮ではあらうが、決して國民の爲の緊縮政策ではない

益.....**提灯**

御新盆の御供養は
御戒名入提灯に限る
安く良く 御注文に應じます

スガノヤ提灯店
岐阜提灯を陳列致しました
電話七一二



定部金貳圓
一ヶ月十圓
三ヶ月廿圓
半年卅圓
一年六十圓

廣告費
五字一圓
十字二圓
二十字三圓
三十字四圓
五十字五圓
一百字十圓

印刷費
一頁一圓
二頁二圓
三頁三圓
四頁四圓
五頁五圓

電話六三〇番

日刊
發行所 岐阜市 川崎文治
本社 同番地 (電話六三〇番)
印刷所 岐阜毎日印刷所

八月二十日

寄書
議會協賛權の無視

安藤 正純

(承前)凡そ政治道徳蹂躪のうちでもこのくらゐ根本的なこのくらゐ罪悪はない。若し夫れ、緊縮政策の内容について唯一言評するならば緊縮の實果は、國民精神の緊張に依り始めて現はれる然るに國民の儀長たるべき政府が、この緊縮實行豫算の編製を逆用して反對黨議員の變節を強要し變節するなら何とか手心を加へんとしたる、如き跡、歴々たる

汽車時間改正

九月十五日より實施

常磐線下り	前 二、五〇	仙台
	後 三、二〇	七、三二
	同 五、二〇	七、〇〇
	同 五、四〇	(長塚)
	同 八、二〇	九、五四
	同 二、一八	二、三三
	同 一、五八	六、三三
	同 三、二〇	(木戸)
	同 四、四五	九、〇五
	同 七、五二	(原町)
	同 九、三二	(富岡)
常磐線上り	前 二、四二	上野
	後 一、〇二	四、一九
	前 三、二二	六、三九
	後 六、三七	九、〇一
	後 九、一七	一〇、二〇
	後 一、五三	(湯本)
	後 六、〇八	八、〇八
磐越東線下り	前 二、二二	郡山
	後 七、〇五	七、〇〇
	前 八、四五	一、二四
	後 一、二二	一、二二
磐越本線上り	前 五、四二	郡山
	後 八、五〇	八、三二
	前 一、一八	一、五三
	後 二、一五	二、〇四
	後 四、四五	五、一五
	後 七、五七	七、三〇
	後 一、一九	一、一九
郡山	午前 五、三五	八、〇三
	午後 七、五〇	一〇、三三
上野	午前 一、〇二	二、五五
	午後 三、二二	三、五三
湯本	午前 三、五二	六、二二
	午後 五、三五	八、四四

保安課の後援を得て 自動車の徹底的取締

規定以上の速力や 故障車體、無免許運轉等

平町を中心に石城郡下に自動車事故が頻出するので所轄警察署では自動車協會平支部とも聯絡して事故防止をはかつてゐるが事故は却て増發の傾向にあり平署管内のみにて一日平均一件を下らない程なので縣保安課では十日から平、四倉、植田三署管内において自動車の特別執行をなし十一日には縣保安課から八須賀警部補來郡したこの取締は取締規則違反を取締事故防止の目的から行はれたものであるが規定以上の速力を出し

禁止の制札

北寄貝採取 中田漁業組合

石城郡錦村中田漁業組合は先年同様に北寄貝繁殖し夏季は地曳網冬は蛤ナガラミ北寄貝等の漁業に生活をするものであるが近年大敷網の出漁に地曳網漁りくその前後策を講じつゝあるが、冬季の副業たる蛤アサリ

尺取に似た害虫 平地方に發生す

驅除には石油乳劑

は岩間海水浴場の設立以來海水浴を口實に蛤、アサリ採取に來る者多く中には熊手の如き器具を持參する者さい續出せるため同組合では狼狽し禁止制札を建警察當局と協力嚴重に取締ると

稲田養鰯 續

稲の生育助成

石城郡上遠野村深山田部落約五十戸では郡農會の徳意によつて今年度より副業養鰯組合を設置し七月十五日設備を了した水田約二段歩に二十萬尾を放流したが昨今の發育は極めて好く一ケ年後の發育を非常に期待されてゐると同時に最近稲作に害あるものとの一般の懸念も却て蠶類の驅除に適し且根本を適當に攪拌するの



洗濯物に依り 石鹼の適否がある

洗濯石鹼の用途は單に布面の汚れを除くためばかりでなく、食器、窓、硝子その他の器具にも使用せられるのであつて何れも同一の石鹼を以て洗濯する事は合理的ではないのであります、織物の中でも絹織物、毛織物もあり又人造絹糸の混織物もあつて、その品によつて石鹼の適否があるから、その品に適當したものを選

びべきでありませ、一体に木綿類はアルカリに對して強いものでありますから少々アルカリを混和した石けんを以つて洗濯しても少しも差つかへはないのみでなく、却てその混和したアルカリがあるために洗淨作用が強いといふ特點がありま

平町組屋町(縣社通り) 美味 **イロハ食堂** 評判 オの部電話四六〇番

建設を促進

委員近く出福

平署の移轉によつて元郡役所會議室に一時借家住居してゐた各種團體事務所は過般内務部長が來平した際團體占有の事務所を至急建造してもらひたいと陳情したのに對し部長は元郡長官舎並びに上席官舎を新川端附近へ移しその跡に建設したい意嚮を漏らしたので各種團體では直ちにこれが實現運動を試みるとなり計畫中であつたがいよゝ近日中委員出福して署長が官舎に移轉せざる前にこれが實現を計るべく最後の運動を試みるゝとなつた

平第一の 臨海學校通信

第五信(八月十日)晴

うすつかり疲れてどうやら朝寝も氣持よくなつてしまひました。おかげで朝の散歩はお流れで今朝も體操だけ

午後二時再び海に出る。體がいたいゝと泣き顔ををしてゐた。横田水竹先生も皮がむけて来て来たせいか元氣一倍尋んに荒泳いでゐました。初め一つも泳げなかつた人も今は泳ぐことも出来るやうになりました

おやつとうみぎをして臨海學校先生對生徒の野球戦を行ひました。丁度鈴木、野木、林の諸先生がお遊びにおいでになつたので先生方に組しました。先生等は時珍プレーを見

明日の天気

晴天氣續
き處によ
り夕立

せ野次郎を喜ばせました。そして奮闘されました。結果七A對六、あゝ我々生徒軍は惜敗しました。メンバーは

先生 上川 田木 竹川 谷
(水) 横林 瓜 鈴 水 (上) 野澤 木
(投) 捕(1) 2 3 (遊) 左 中 右
木 竹 本 貞 日 谷 谷 野 川
生徒 大 鈴 邊 新 大 瀧 萩 石
宿屋に寝るのも今夜限り
明日の今頃は父さんお母さんの許に久しぶりで歸れるのだ

過般葬式の際には種々御世話様に相成候段深く御禮申上候、就而今度新盆に相當致し候得共時節御提灯其他佛前供物等御遠慮申上候間此段御了承相成度候

一心堂菓子店
鹿島屋魚店

高 橋 清
佐 藤 長 藏
石 井 健 二
早 川 次 郎
青 木 ヨ シ
以上大工町

心寶院等善金齊居士新盆に相當候へ共遺志に基き提灯其他の御供物御辭退申上度此段御諒願上候

平町長橋町卅五番地
川崎文治